

PRESS RELEASE (報道関係者各位)

2025年5月12日

ITインフラ、業務アプリ、DXやAIまで幅広く学べる「2025年版クイズサービス」

調査設計/分析/執筆: 岩上由高

ノークリサーチ (本社〒160-0022東京都新宿区新宿2-13-10武蔵野ビル5階23号室 代表: 伊嶋謙二 TEL: 03-5361-7880
URL: <http://www.norkresearch.co.jp>) は好評いただいているクイズサービスを更新し、最新の調査データを反映した「2025年版クイズサービス」を発表した。本リリースでは同サービスの内容について紹介している。

<IT企業においても人材不足が顕著となる中、効率的な知識の習得も重要な取り組み>

- クイズ形式のコンテンツは中堅・中小企業のIT活用実態を楽しみながら学べる手軽な手段
- 有償版では企業毎に出題テーマと利用人数を指定可能、個人スコアと正答率グラフも提供
- 出題元となる調査データはソリューション、業務システム、ITインフラ、販売チャネルを網羅

クイズ形式のコンテンツは中堅・中小企業のIT活用実態を楽しみながら学べる手軽な手段

ノークリサーチでは中堅・中小企業のIT活用実態に関する理解を広める活動の一環として、市販の調査レポートに収録されたデータから出題する無償の「中堅・中小IT活用クイズ」をホームページ上で公開している。同サービスは2023年から始まったが、楽しみながら中堅・中小企業におけるIT活用実態を幅広く学べるコンテンツとして、その後も継続的にご好評をいただいている。そこで、最新の調査データを盛り込んだ第三弾となる「2025年版 クイズサービス」の提供を新たに開始した。

上記に述べた無償版のクイズはノークリサーチのホームページ右上メニューの「中堅・中小IT活用クイズ」から、誰でも気軽に楽しむことができる。(計20問から毎回ランダムに8問が出題)(ホームページ: <https://www.norkresearch.co.jp>)

一方、「クイズのコンテンツを社内向けのeラーニングに活用したい」などの要望に応じて、2つのプランが選べる有償サービスも用意されている。無償版と有償版のいずれも、クイズの画面イメージは以下の通り。次頁では有償版の詳細を紹介している。

クイズのスタート画面

クイズで学ぶ、中堅・中小企業のIT活用動向

ノークリサーチ：中堅・中小企業のIT活用に関するクイズ 2025

ここではノークリサーチが発行している様々な市場調査リリースから、以下のようなクイズを全8問出題します(計20問の中から、毎回ランダムに8問が選ばれて出題されます)
クイズを通じて中堅・中小企業におけるIT活用の重要ポイントを気軽に学ぶことができます
(各設問には回答前のヒントと回答後の解説も記載します)

第1問:
中堅・中小企業におけるワークフローの活用状況として正しいものはどれでしょう？(ヒントとなるリリースへのリンク)

- ◎ 社営シェア上位の製品/サービスの間でも強みを持つ年商規模は異なる
- SaaS形態のワークフロー導入割合は年商規模が小さくなると急激に高まる
- ワークフローとERPは分野が異なるので導入/刷新が連動することはない

回答確認 & 次の問題へ

メールアドレスを記載いただいた場合、8問中6問以上正解された方には以下の左側に示した「中堅・中小IT活用クイズ優秀スコア認定証」をお送りさせていただきます。
またスコアに関係なく、以下の右側に示した市場調査リリース案内の解説コメント付きでお送りいたします。

認定証やリリース案内が不要の場合は、メールアドレスを入力せずにクリックしてください。

メールアドレス:

クイズを始める

8問中6問以上正解の場合は認定証を発行

メールアドレスの入力は任意

記載いただいたメールアドレスは弊社アナリストからのリリースおよび優秀スコア認定証の送付先としてのみに利用します。リリース案内が不要となりました際はホームページのお問い合わせフォームより、その旨をご一報ください。

問題表示画面

クイズで学ぶ、中堅・中小企業のIT活用動向

ノークリサーチ：中堅・中小企業のIT活用に関するクイズ 2025

第1問:
中堅・中小企業のストレージ環境に関する記述として正しいものはどれでしょう？(ヒントとなるリリースへのリンク)

- ◎ 中堅・中小市場でもオールフラッシュストレージの訴求は可能である
- クラウド環境でもオンプレミスと同じストレージ形態が求められている
- ストレージ活用においては年商規模に関係なく容量管理が最大の課題である

回答確認 & 次の問題へ

解説表示画面

クイズで学ぶ、中堅・中小企業のIT活用動向

ノークリサーチ：中堅・中小企業のIT活用に関するクイズ 2025

第1問は正解です

ユーザ企業に対してストレージ関連の課題やニーズを尋ねた結果を分析すると、中堅企業層ではオールフラッシュストレージの訴求も有効であることが分かります。また、クラウド環境ではオブジェクトストレージなどによりクラウドネイティブなストレージ形態を選ぶようになる傾向も見られます。一方、ストレージ活用の課題は年商規模と共に「エッジ」⇒「社外利用」⇒「データ整理」と傾向が変化しており、容量管理が共通の課題というわけではありません。この点に関する詳細は下記リリースの1~3ページで詳しく解説しています。
「中堅・中小企業におけるストレージ環境の形態選択と活用課題の動向」

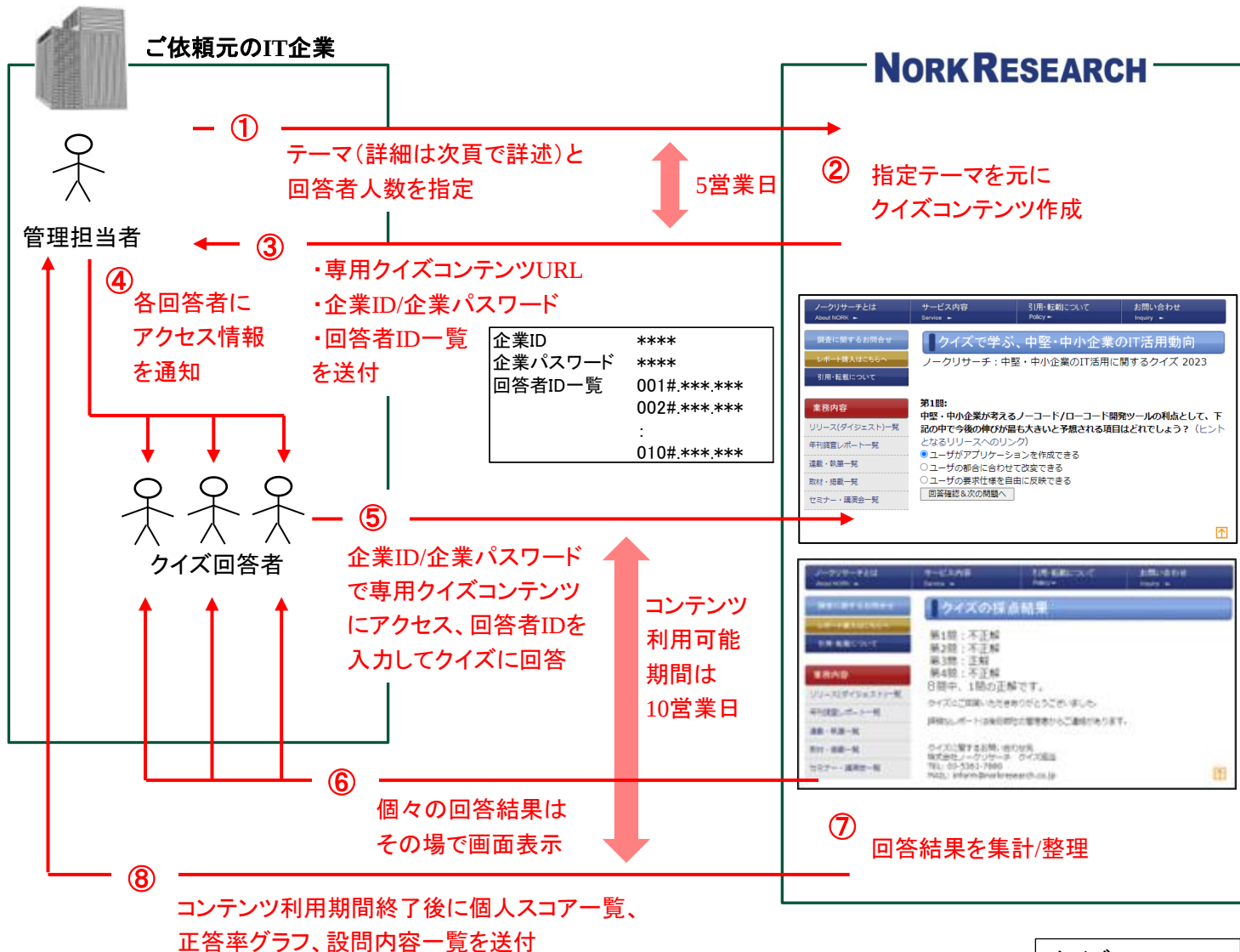
第2問:
中堅・中小市場におけるIT支出全般の市場規模に関する傾向として正しいものはどれでしょう？(ヒントとなるリリースへのリンク)

- ◎ 小規模企業層(年商5億円未満)では市場規模が拡大している
- 市場規模が拡大しているのは中堅上位企業層(年商300~500億円)のみ
- 中堅・中小企業の全ての年商規模においてIT支出の市場規模は拡大している

回答確認 & 次の問題へ

有償版では企業毎に出題テーマと利用人数を指定可能、個人スコアと正答率グラフも提供

IT企業毎に個別に実施される有償版クイズサービスの流れは以下のようになる。



依頼元IT企業がテーマ（詳細は次頁で詳述）と回答者人数（何人がクイズサービスを利用するか）を指定すると、指定テーマに沿ったクイズコンテンツがノークリサーチのホームページ上に作成される。このクイズコンテンツには依頼元のIT企業専用のURLおよび企業ID/企業パスワードでアクセスし、個々の回答者は回答時に回答者IDを入力する。（誰にどの回答者IDを割り当てるか？は依頼元IT企業の管理担当者にて管理）10営業日の間に各自がクイズに回答し、期間終了後に回答結果をまとめた3つのExcelシートが管理担当者宛に送付される。

出題元となる調査データはソリューション、業務システム、ITインフラ、販売チャネルを網羅

有償版クイズサービスには目的に応じて以下の2つのプランが用意されている。

公開リリース出題プラン:

ノークリサーチのホームページ上で公開されているリリース(調査レポートのサンプル/ダイジェスト)から出題されるプラン。本ページ下段に列挙されたテーマから3つを選択することができる。各設問の解説は公開リリースの該当箇所を指し示す形で記載される(無償版と同じ形式)。中堅・中小企業におけるIT活用の概況を学びたい場合に適したプランである。

調査レポート出題プラン:

本ページ下段に列挙されたテーマから1つを選び、まずは該当する調査レポートを納品させていただく。その後、当該テーマに関するクイズコンテンツを通じて調査レポートの理解を深めることを目的としたプランである。各設問の解説は調査レポートの分析サマリ(分析や提言の要点を記載したPDFドキュメント)の該当箇所を指し示す形で記載される。

各プランの詳細を無償公開版のクイズコンテンツとの比較も含めて整理すると以下ようになる。

	無償公開版	公開リリース出題プラン	調査レポート出題プラン
概要	無償で利用できる個人向けの3択クイズコンテンツ	3つのテーマを選び、公開リリースから3択クイズコンテンツとして出題される企業向け有償プラン	特定の調査レポートをテーマとした3択クイズコンテンツとして出題される企業向け有償プラン
主な用途	気軽に中堅・中小IT市場のクイズにチャレンジしたい	まずは中堅・中小IT市場の概況について従業員の見識を広めたい	特定の調査レポート内容を従業員にしっかりと理解させたい
出題元データ	ホームページに公開された調査リリース	ホームページに公開された調査リリース	調査レポート(指定テーマに該当する調査レポート)
設問数	全20問から毎回ランダムに8問を表示	中堅・中小IT市場の概況設問2問、3つのテーマから各2問の合計8問	中堅・中小IT市場の概況設問2問、調査レポートから8問の合計10問
実施期間	常時公開	10営業日	10営業日
基本費用	無償	¥128,000円(税別)	¥385,000円(税別) (出題元となる調査レポート1冊の費用を含む)
従量費用	無償	¥50,000円/10名(税別)	¥50,000円/10名(税別)
納品物	なし(6問以上正解の場合は認定証を発行)	・個人スコア一覧 ・正答率グラフ ・設問内容一覧	・個人スコア一覧 ・正答率グラフ ・設問内容一覧 ・出題元調査レポート

各プランで指定可能なテーマと対応する調査レポート名称およびレポート案内URLは以下の通りである。(2025年5月時点)

ソリューション の視点	テーマS: 「DX&AIソリューションの導入パターン類型化と訴求策の提言レポート」 (近日発刊)
業務システム の視点	テーマA1: 「中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024itapp_rep.pdf テーマA2: 「中堅・中小企業におけるRPAおよびノーコード/ローコード開発ツールの活用実態レポート」 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024RPA_user_rep.pdf テーマA3: 「中堅・中小企業のセキュリティ/運用管理/バックアップ利用実態と展望レポート」 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024Sec_user_rep.pdf
ITインフラ の視点	テーマI1: 「中堅・中小企業におけるネットワーク環境の実態と展望レポート」 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2023NW_user_rep.pdf テーマI2: 「サーバ&エンドポイントにおけるITインフラ導入/運用の実態と展望レポート」 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rep.pdf
販売チャネル の視点	テーマC: 「中堅・中小企業のIT支出と業務システム購入先の実態レポート」 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SP_user_rep.pdf

ご好評いただいている既存の調査レポート(2/2) 各冊225,000円(税別)

『2024年版 サーバ&エンドポイントにおけるITインフラ導入/運用の実態と展望レポート』

【レポートの概要と案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rep.pdf

【リリース(ダイジェスト)】

中堅・中小ハイブリッドクラウドの適用状況と解決すべき課題

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rel1.pdf

中堅・中小サーバ環境におけるクラウド移行とオンプレ回帰の実態

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rel2.pdf

HCI(ハイパーコンバージドインフラ)の導入状況、社数シェア、導入障壁

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rel3.pdf

中堅・中小サーバ市場(オンプレミス&クラウド)のシェア動向

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rel4.pdf

Windows 11への移行を阻害している要因とその打開策

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rel5.pdf

中堅・中小エンドポイント環境のOSと端末/サービスのシェア動向

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rel6.pdf

中堅・中小ストレージ環境の形態選択と活用課題の動向

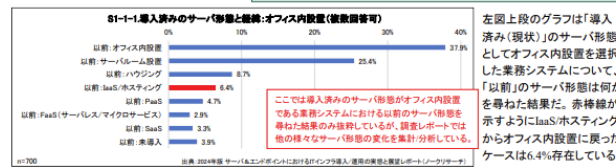
https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024SrvPC_user_rel7.pdf

今後の導入予定においても、IaaS/ホスティングからオフィス内設置への回帰は1割弱存在



上記の定義に沿って、調査レポートでは右図に示すように「以前⇒導入済み(現状)」および「導入済み(現状)⇒導入予定」のそれぞれのサーバ形態の推移を累計分析している。

以前	導入済み(現状)	導入予定
オフィス内設置 サーバルーム設置 ハウジング IaaS/ホスティング PaaS FaaS SaaS 未導入 導入なし	オフィス内設置 サーバルーム設置 ハウジング IaaS/ホスティング PaaS FaaS SaaS 未導入 導入なし	オフィス内設置 サーバルーム設置 ハウジング IaaS/ホスティング PaaS FaaS SaaS 未導入 導入なし



『2024年版 中堅・中小企業におけるRPAおよびノーコード/ローコード開発ツールの活用実態レポート』

【レポートの概要と案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024RPA_user_rep.pdf

【リリース(ダイジェスト)】

ハイパーオートメーションを目指す取り組みがRPA市場の再活性化につながる

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024RPA_user_rel1.pdf

RPAツールを適用する場面/用途と導入シェアが指し示す今後の要注力ポイント

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024RPA_user_rel2.pdf

中堅・中小のユーザ企業から見たノーコード/ローコード開発の現在地

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024RPA_user_rel3.pdf

ノーコード/ローコード開発ツールの活用状況、社数シェア、導入費用

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2024RPA_user_rel4.pdf

中堅・中小のユーザ企業から見たノーコード/ローコード開発の現在地

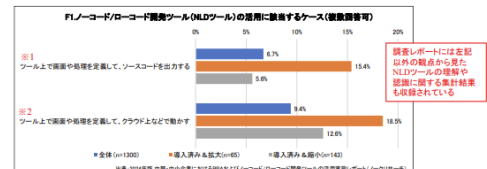
調査設計/分析/執筆: 岩上 由高
 ノークリサーチ (本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-10 武蔵野ビル5階23号室 代表: 伊崎謙二 TEL: 03-5361-7880
 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>) は中堅・中小企業におけるノーコード/ローコード開発ツールの認識/理解、適用する場面/用途、課題/ニーズなどに関する調査を実施し、その結果を発表した。本リリースは「2024年版 中堅・中小企業におけるRPAおよびノーコード/ローコード開発ツールの活用実態レポート」のサンプル/ダイジェストである。

＜システムを作る側だけでなく、利用する側から見たノーコード/ローコードの現状理解が大切＞
 ■「ノーコード/ローコード開発＝クラウドサービス」という誤解が広まらないように留意が必要
 ■「クラウド側の連携」だけでなく「既存システムの機能追加」などの場面/用途も訴求すべき
 ■「コーディングが意外と多い」よりも「実現できる画面仕様や処理内容の制限」が重要課題
 ■「場面や用途に応じた複数ツールの使い分け」や「生成AI機能の取り込み」が今後の重点

対象企業: 年商500億円未満の中堅・中小企業(1300社(日本全国、全業種)) (有効回答件数)
 対象職責: 情報システムの導入/運用/管理または製品/サービスの選定/決裁の権限を有する職責
 ※調査対象の詳しい情報については本リリース5ページを参照

「ノーコード/ローコード開発＝クラウドサービス」という誤解が広まらないように留意が必要

IT企業が中堅・中小企業向けのノーコード/ローコード開発ツール(NLDツールの)の拡張を図る際にはノーコードとローコードをどのように区別して伝えるべきか?に着目しがちだ。その点も重要だが、ユーザ企業側はNLDツールをどのように理解・認識しているのかも把握しておく必要がある。本リリースの元となる調査レポートでは年商500億円未満の中堅・中小企業(有効回答件数1300社)に対し、NLDツールの活用に関するケースはどれかを尋ねている。以下のグラフは、その一部をNLDツールの活用状況別に尋ねた結果を調査レポートから抜粋したものだ。



本データの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。

引用・転載のポリシー: <http://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>

当調査データに関するお問い合わせ

NORK RESEARCH

株式会社 ノークリサーチ 担当: 岩上 由高
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-10 武蔵野ビル5階23号室
 TEL 03-5361-7880 FAX 03-5361-7881
 Mail: inform@norkresearch.co.jp
 Web: www.norkresearch.co.jp